



せいひ会だより

2017年(平成29年)
10月1日発行
<第210号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



毎年恒例の風和の里・敬老会。今年は、外部や他事業所からの参加やご協力もあり、いつもより演目も増えた賑やかな会となりました。中でも変面ショーでは、踊りながら一瞬のうちに変わるお面に、見ていた利用者の方も職員もビックリ！間近ではなかなか見ることができない、貴重な舞台を目にすることができました。色々な出し物を見て、笑ったりビックリしたり涙したり・・・。「楽しかった～！」「元気をもらったよ！」と、楽しまれたようでした。皆さん、これからも健康で元気にお過ごしください。

9月の行事	10月の行事予定
16日 敬老会(風和)	02日・06日 バスハイク(通所)
18日 寿限無合同敬老会(寿限無・じゅげむ)	04日 お月見・月見会(風和・GH)
21日 運営推進会議(寿限無)	13日 西彼中学校文化祭参加(通所)
22日 消防設備研修(風和)	15日・22日 バスハイク(GH)
	20日 運営推進会議(GH)
	21日 運動会(風和)
	27日 夜間想定消防訓練(風和)

9月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



昭和9年9月24日のさる年生まれ。西彼町白似田元越で8人兄弟の4番目として育ちました。子供の頃は元気で、「いたらん事ばかりしてがられよったよ」と、おとなしい方ではなかった様子。白似田小学校卒業後は、漁業や農業等をして生活していました。

特に漁業がお好きなので、「魚釣りは面白かもんね、晩になれば、寝とる魚を船から矛で突いて捕りよったよ。それが一番早やかもん」「ばってん、金はいっちょん入ってこんやった」と、笑って話してくれました。しかし本当は、とても立派な船をお持ちだそうです。

数年前に柿の木から転落し、腰の骨を折る怪我をされた。海への転落も増え始め、船釣りはやめざるを得なかったとのこと。「まだ釣りばしたかったね」と、ポツリと言われました。

現在生活しているグループホームでは、毎日の洗濯物たたみや食事の盛り付け・配膳等、いつも快く手伝って下さる為、職員もついつい頼ってしまっています。空いた時間には「歩かんば足の弱くなってしまう」と、自ら廊下を何往復も歩かれています。皆さんとの会話も多く、よく談笑されています。困っている人がいるとほっとけない性格で、声をかけたり、他の方の湯飲みが空になっているのに気付くとお茶をついでくれたり、食事を食べやすいように寄せてくれたりと、とても優しく面倒見が良いところも多く見受けられます。目もよく見えておられ、眼鏡をかけず新聞を読まれています。

優しく散歩が日課の豊彦さん、これからも一緒に、元気に歩きましょうね。

今回はグループホームせいひ：川本豊彦様にお話を伺いました

Vitality Space

バイタリティー・スペース



『手作りのティディベア』 風和：平野マサ



『舞妓さんと紅葉』 寿限無：松江恵美子



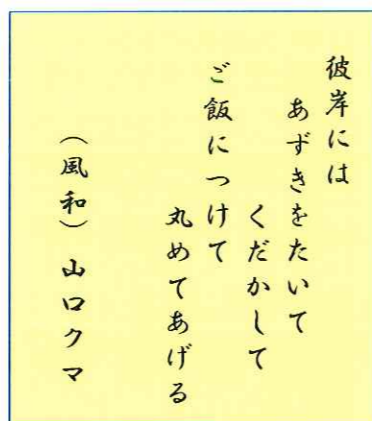
立石ミドリ

風和：立石ミドリ



秋浦克敏

通所：秋浦克敏



通所：荒瀬美智子



『長月』 通所：竹下晶子

100歳おめでとございます！



【元亀の里：吉村マツセ様】



【GH：小島チエ様】



【風和：山脇カナ様】

今年100歳を迎える利用者の方に、内閣総理大臣と長崎県知事から祝状と祝い品である銀の盃が贈呈されました。受け取った皆さんは、珍しそうに笑顔で眺めておられ、多くの方たちから「おめでとございます」と祝福の声を受けておられました。これからも変わらずお元気にお過ごしく下さい！

寿限無敬老会



9/18の敬老の日。寿限無でも、毎年特に力を入れている行事である敬老会を行いました。普段はまじめな顔をしている職員が趣向を凝らした出し物を披露すると、会場は笑いの渦に包まれました。利用者から御家族まで、「面白かったね〜」「また見たかばい！」と、大好評で幕を閉じました。



衣替えの季節です

朝晩がひんやりと感じられる季節になりました。冬物の衣類を準備して頂き、夏物の衣類のお持ち帰りをお願いします。お持込の衣類には、すべてお名前をご記入ください。(持ち主不明で衣類が迷子になります)
①洗濯により、記入した名前が消えてないですか？
②直接書けない衣類には、別布に名前を記入して縫い付けて下さい。

ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、元亀の里・瀏さんです。

元亀の里に就職して、今年の10月で11年になります。私がこの法人で働きだしたのは、平成18年10月でした。その年の11月の暮れ辺りから、当時同じ元亀の里で働いていた女性と交際し、翌年平成19年の6月に私の子供を妊娠したことを告げられ、7月31日に入籍、さらに翌年平成20年2月11日に第一子である長女を授かりました。それから時は経ち、現在は平成29年。今は息子一人、娘三人、計四人の子供に恵まれ、決して裕福とは言えませんが、私にしてみれば裕福になる以上に幸せな生活を送れていると思っています。長女も成長し、今年10歳になる小学4年生です。その娘に言われたのが、「もうすぐ2分の1成人式だよ。」です。私が娘と同じ年の頃は、こういう行事はなかったのですが、最近では小学校の行事でそういうものがあるようです。なんでも、半分大人になったことを祝う式とか…。しかし、大人と子供の境界線とはいったいどこにあるので

しょうか？20歳を迎えたら大人。まあ、それも一つの考えでもあり、もしかするとそれが定義なのかもしれません。しかし、世の中には20歳を過ぎてても子供のような振る舞いをする人は大勢います。かといって、それがすべて悪いことだとは思いません。童心を忘れてしまうことほど、人生つまらなくしてしまうことはないと思います。誰だつてたまにはハメを外して遊びたい、子供のようにはしゃいでみたいと思うことがあるでしょう。私が思うに大人になるということは、自分の行いに対してしっかりと責任を取れるようになることだと思えます。どんなにハメを外しても、どんなに子供のようにはしゃいでも、そのことで生じたすべての責任は自分で取る。それでこそ、大人なんだと思います。果たして、今の自分がそれをできているかはわかりませんが、私の四人の子供たちには、そういう大人になってほしいものです。